

2014年度 第1回 常任幹事会議事録

●日時
2014年7月26日(土)
15:00~17:00

●場所
阿佐ヶ谷美術専門学校 図書室

●出席者
秋元圭一〔会長〕
甲斐光省〔副会長〕
土橋洋一〔常任〕
西田一成〔常任〕
桜井裕美〔常任〕
松岡和彦〔常任〕
小山優子〔会員〕

●委任欠席者(カッコ内→代理人)
竹島 巍(秋元)
三好耕之
日野 高(秋元)
大村政幸(秋元)
浜村圭一
白石龍子(秋元)
小山 弘
勝山昌幸
永吉昭浩
大野美菜子(秋元)
富澤和治
山田直毅
軽込孝信
藤原成理(松岡)
小高恭子

2014年度常任幹事 出席……6名
2014年度常任幹事 委任欠席…15名
(常任幹事21/25名 定足数成立)

●議事進行:松岡和彦

●議事録
書記:長根小夏

校正・制作・文責:
秋元圭一、大村政幸

■議題

- 1 アサブリッジプロジェクトについて
- 2 『アサビ70周年』について
- 3 コラボ企画について
- 4 その他・意見交換

■はじめに

◎出欠確認の後、前回会議の議事録は承認を受けてasabi-netへアップ予定との報告があった。

■議題 1 アサブリッジプロジェクトについて

◎浜村委員長が欠席のため、西田氏より今年度企画案の概略が報告された。
セミナーや、まんが計画とのドッキングなどの案を出していたが、その後「卒展を学校内で行なう」という話があったので、まだ学校とは調整ができていないが、その時に中庭を使ってオープニングパーティのような形で1時間半程度開催し、卒業生や在校生、お世話になった先生と交流のできる場を作ってはどうか、同窓会の活動内容や卒業生の作品等も展示できるとよいという話に留まっていて、セミナーとは違う方法で人を集められないかと考えています。

◎秋元会長は「大事なのは開催日と場所の問題で、卒業制作展の中に同窓会が企画するには、学校に提案し確認を取ってからでないと進めない。それに中庭は来場者が一番最初に目にする所であり、卒展を見に来る事を考えると戸惑うのではないかと述べた。他に「パーティという漠然としたものでは人は来ないと思う」「アサブリッジプロジェクトには、卒業生が在校生に対して『卒業し社会で色々学んできた事を伝え、在校生にエールをおくる』というように感じていたので、セミナーを続けてはどうか」「今まで卒展を見てきて、現役の学生の発表を私たちがあまり聞こうとはしていなかったように思う。学生たちが研究発表のように行っているその場に卒業生をパネラーとして招き、プロから見た意見を言える場にしてあげるのもいいかもしれない」と幾つか意見が出た。

◎松岡氏は「学校側の人間として言うと、パネラーとして卒業生を招く案はいいなと思うところがある。横浜とかでやっているとなかなかプロの人とか見に来てくれない。若い卒業生や幹事会のメンバー以外にも、今活躍している卒業生がもっと今のアサビを見てくれると嬉しいのですが、なかなか足は向かない。パーティが目的ではなく、卒業生と学校とをうまくつなぐのは同窓会の役割で、そのための仕掛けをするのがアサブリッジなのではと思う」と述べ、卒展についてさらに説明を加えた。

「次回から卒展を学校で開催することについて、学校側ではまだ暗中模索な部分があり、卒展の意義も思案中。今までの卒展は、ホワイトキューブという真白な壁に囲まれたところに成果を展示し、作品を見てもらうという考え。今学校でやる意義を考えた場合、アサビで作っている姿も展示し、場も含めて教育であるという考え方に変わってきている。アサビは杉並にあり、そこから卒展を通して色々な人と交流できるのではないかと、地域に場を開いていったり、今学校でやっている、妙法寺の門前通り活性化プロジェクトも展示して、『卒展』だけではなく『アサビの制作した結果がアサビの中でどうなってるのかを示す展示会』にしよう。作品と人と場所の背景が見えるというような考え方で、杉並区にある学校はこういう教育をしてるんだなというのを見せる必要があるのではという趣旨です。妙法寺関連のプロジェクトや卒業生の講演会など、他のアイデアもあっていいのではというもあり、9月以降にもう少し煮詰めていくという話になっています」

◎その後も意見交換が続き、セミナー運営のノウハウはあり、問題は人選のみということなら、秋元会長は「松岡氏に人選を含めて準備をしてもらい、同窓会ニュースの入稿に間に合えばと思う」と述べ、松岡氏は「他の方からも推薦があるとよい」と答え、松岡氏とアサブリッジプロジェクトが連携し進めていく運びとした。

■議題 2 『アサビ70周年』について

◎松岡氏より報告があった。
・70周年自体は来年度で、現在の具体的な決定事項は、パンフレットなどに使う70周年のロゴ制作。
・早見先生の意向としては70周年ということでぜひ同窓会にも協力してほしいということで、学校側で行う講演会の際などに、同窓会が窓口になって人を紹介できるような、卒業生と学校のパイプ役を務められるとよいと思う。
・大掛かりな記念式典のようなものはやらないと思う。

◎秋元会長は「同窓会が協力できる事として、会員の職業等の新しい情報を得るため、アンケートを行なうことも一案だと思う。それには『同窓会ニュース』の活用が効率的だが、今年度は発送までの1ヵ月くらいでアンケートの内容や返信方法などを検討・作成するのは難しく、予算の事も考えると来年度の『同窓会ニュース』に同封する事が適当だと思う」と意見を述べた。

■議題 3 コラボ企画について

◎甲斐氏より、小山氏作成の『まんが計画2014』のチラシが配布され、説明があった。
・募集形態としては1回目のメンバーなどを通して口コミで広げている。
・募集期間:7/1~8/30 原稿締切:9/30
・参加費用は2,500円で、1回目より500円増。
・参加者への同人誌無料配布は前回3冊だったが、今回は2冊に変更。

◎松岡氏より「WEB告知用に、情報を私の方へ送ってください」。秋元会長より「1回目の収支報告が冊子用だけだったので、今回は展覧会用と冊子用をひとつにまとめて報告してください」との依頼があった。

■議題 4 その他・意見交換

◎秋元会長より、大村氏からの報告2件が告げられた。
・在校生支援のリーダーは山田氏、メンバーは日野氏で決定。
・2013年度第5回常任幹事会で話に出た、事務局長に藤原氏を推薦した件は、大村氏と藤原氏の話合いにより、ペンディングとした。
◎今年度『同窓会ニュース』の発行に当たって、昨年度の『同窓会ニュース』を参考に、幹事会で承認された会務報告や常任幹事改選選挙報告、幹事リストを住所不明者と区分けして掲載する、アサブリッジセミナーの詳細が決まれば告知すること、などが確認された。